

令和元年度
(第 27 期)

事 業 報 告 書

自 平成 31 年 4 月 1 日
至 令和 2 年 3 月 31 日



公益財団法人とかち財団

令和元年度事業報告書 目次

1 概況	-----	1
2 トピックス ~商品開発・事業化支援成果の受賞等~	-----	2
3 ものづくり支援事業【公益目的事業1】		
(1) 試験研究	-----	4
(2) 技術支援		
①技術指導・企業相談	-----	9
②検査分析	-----	11
③技術講習・研修	-----	12
④情報発信・成果普及	-----	17
⑤外部資金を活用した技術支援	-----	21
(3) 施設の管理運営		
①北海道立十勝圏地域食品加工技術センター	-----	22
②十勝産業振興センター	-----	22
(4) 十勝ものづくり総合支援補助金 (十勝ビジネス支援プロジェクト2019)	-----	24
4 地域連携支援事業【公益目的事業2】		
(1) 企業相談	-----	27
(2) 開発商品等のPR及び販路拡大		
①展示会・商談会等への出展	-----	27
②十勝ブランドの推進	-----	28
(3) 地域連携の促進支援	-----	32
5 事業創発支援事業【公益目的事業3】		
(1) 人材育成(十勝ビジネス支援プロジェクト2019)		
①学生起業家支援	-----	33
②アーリーステージ事業者支援	-----	34
③十勝人チャレンジ支援	-----	36

(2) 事業化の加速支援	-----	3 8
(3) Webによる情報発信	-----	4 0
6 事業創発拠点の管理運営事業【その他の事業1】	-----	4 2
7 海外先進地視察事業【その他の事業2】	-----	4 5
8 収益事業	-----	4 5
9 主要事業に関連する事項		
(1) 視察の受入れ	-----	4 6
(2) 関係機関等が主催する会議等への参画・協力等	-----	4 6
(3) 一般社団法人とかち地域活性化支援機構・帯広地域雇用創出促進協議会との連携	-----	4 7
(4) 組織力強化の取組み		
①高度外国人材の確保・活用	-----	4 8
②職員研修の実施	-----	4 8
(5) 新型コロナウイルス感染拡大防止の取組み・措置	-----	4 9
10 管理運営事項		
(1) 理事会	-----	5 0
(2) 評議員会	-----	5 2
(3) あり方検討委員会	-----	5 3
(4) 資産運用委員会	-----	5 3
(5) 行政特別委員会	-----	5 3
(6) 公益法人変更認定申請	-----	5 3

1 概況

十勝地域においては、産学官金の緊密な連携により、基幹産業である農林漁業を核とする地方創生の推進に向けた積極的な取組みが進められている。

このような背景の下、地域の産業活性化への貢献を目標に掲げている当財団は、十勝の未来につなぐ「価値」の創出と向上を図るため、平成29年度から5ヶ年で実施している「第2期産業活性化ビジョン」の取組みを着実に進め、その成果を一層広げていくことが求められている。

第2期産業活性化ビジョンの中間年度（3年目）となった令和元年度は、従来の公益目的事業である「ものづくり支援事業」「地域連携支援事業」「事業創発支援事業」に加え、「ものづくり支援事業」の一環として新たに「十勝ものづくり総合支援補助金」を開始したほか、その他の事業として「事業創発拠点の管理運営事業」「海外先進地視察事業」を開始した。

ものづくり支援事業では、食品分野の試験研究として、士幌町等との共同研究によるシーベリー加工食品の開発や、地域オリジナルの有用微生物を活用した発酵食品製造技術の開発等に取り組み、新商品開発や地域資源の有効活用等を支援した。また、機械・電子分野の試験研究として、画像処理技術を活用した車両洗浄装置の開発、ISOBU S（農業機械用通信技術の国際標準規格）に対応した農業機械の開発・普及促進等に取り組み、生産現場の課題解決に資する装置・機械開発を支援した。あわせて、両分野の技術支援として、技術指導・企業相談対応、検査分析・機器利用依頼の受入れ、技術講習・研修（セミナー等）の開催、情報発信・成果普及等に取り組んだ。さらに、新たに開始した「十勝ものづくり総合支援補助金」では、地域企業等が実施する新製品・新技術等の開発や、その成果の普及や販売促進等の取組みに対し、事業費の一部を補助した。

地域連携支援事業では、経営課題等に関する企業相談対応のほか、試験研究・技術支援により開発・実用化された製品等の販路拡大を目的として、首都圏で開催された「FOOMA JAPAN（国際食品工業展）」に出展した。また、十勝ブランド推進に係る新たな展開として「十勝ブランド登録制度」を開始した。

事業創発支援事業では、地域産業の担い手育成による創業・起業・事業創発の促進を目的として、人材育成のための奨学金・助成金等の給付事業を実施した。また、事業化の加速支援を目的として、地域の産業支援機関との連携等により、ビジネスプランの構築・強化や不足要素の補強支援等を実施するプログラムである「トカチコネクション」を運営した。

新たに開始した「事業創発拠点の管理運営事業」では、十勝発の新たなビジネスプランやアイデアの実現を支援するための拠点として、帯広駅前にスタートアップ支援スペース「LAND」を開設した。

その他、収益事業として、企業等からの申込みによる受託事業を受け入れたほか、食品分野の技術ニーズに対応可能な評価事業（食品関連評価事業）を実施した。また、インターネット（ホームページ・オウンドメディア・SNS等）を活用した効果的・積極的・広範囲な情報発信を図った。

なお、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、令和2年3月に出展を予定していた「FOODEX JAPAN（国際食品・飲料展）」は開催中止となった。また、「海外先進地視察事業」で予定していたアメリカ・オースティン州の視察を中止した。

以上の取組みを通じ、一体的な産業支援と地域連携の拡大・強化を推進し、「十勝における産業支援プラットフォーム」として、地域の産業活性化に貢献した。

2 トピックス～商品開発・事業化支援成果の受賞等～

表1（公益目的事業1：ものづくり支援成果の受賞等）[3件]

テーマ	
<p>「湖水地方牧場のモツツアレラチーズ 湿原のイタリア水牛」 株式会社大樹農社（大樹町）</p> <p><受賞等の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 雑誌「ソムリエ」2019年169号（7月刊）酒に合うつまみを探せ！第3弾 「ネットで買える日本のモツツアレラチーズ31種をブラインド・テイスティング」第1位 <p><支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成26～27年度 試験研究 「十勝産水牛乳等を用いた乳製品の開発に関する試験」 <p>1</p>	
<p>「無塩せきコンビーフ」 有限会社コスモス（清水町）</p> <p><受賞等の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> 令和元年度6次産業化アワード 食料産業局長賞 <p><支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> 平成27年度 試験研究 「ブラウンスイス牛肉を原料とした加工品の開発と肉質評価」 <p>2</p>	

テーマ	
<p>3</p>	<p>「Farmnote Color」 株式会社ファームノート（帯広市）</p> <p><受賞等の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第8回ものづくり日本大賞（令和元年度） 内閣総理大臣賞 ・第5回日本ベンチャー大賞（令和元年度） 農林水産大臣賞（農業ベンチャー賞） ・第17回日本イノベーターハウス大賞（平成30年度） 日経ビジネスRaise賞 <p><支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成26～27年度 試験研究 「牛群管理システムと連携する牛個体の監視兼識別用デバイス及びゲートウェイの開発」 (経済産業省 戰略的基盤技術高度化支援事業(サポイン事業)補助金を活用)  <p>第8回ものづくり日本大賞 授賞式（令和2年1月8日）</p>

表2（公益目的事業3：事業創発支援成果の受賞等）[1件]

テーマ	
<p>1</p>	<p>「rosa rugosa」 株式会社 ciokay（浦幌町）</p> <p><受賞等の内容></p> <ul style="list-style-type: none"> ・第7回ソーシャルプロダクト・アワード2020 ソーシャルプロダクト賞 <p><支援事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和元年度 アーリーステージ事業者支援助成金 採択事業 「ハマナスコスメ「rosa rugosa」の定期購入モデル導入事業」 

3 ものづくり支援事業 【公益目的事業1】

(1) 試験研究

食品分野及び機械・電子分野の技術的課題の解決や新製品開発等を促進するため、地域連携を図り、必要に応じて外部資金事業を活用する形で、地域ニーズに対応したテーマに関する実用的な研究開発を実施した。また、その成果を地域へ積極的に発信することで、成果の浸透・定着及び利活用促進を図り、企業等による新事業創出等を推進した。

これにより、地域のものづくり技術力を強化し、質の高い価値創出・向上の促進を図った。

<食品分野> (バイオ関連を一部含む)

表3 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
1	十勝地域由来酵母による発酵食品の研究開発（平成30～令和元年度） ・共同研究者：国立大学法人帯広畜産大学 ・内容：十勝地域で栽培された山幸ブドウから分離した酵母が製パンへの応用に効果を持つことを見出し、その製法を確立した。
2	山ワサビを活用した商品開発（平成30～令和元年度） ・連携先：株式会社ヤマオ（芽室町） ・内容：山ワサビの辛み成分を指標とした評価分析を行い、辛みの保持に効果がある加工法について新たな知見を得た。初年度に商品化となり、別の試作品のフォローアップを実施中である。 
3	ルチン含量に着目した蕎麦及び蕎麦の葉加工品の製品検討（令和元年度） ・共同研究者：新得物産株式会社 ・内容：ルチンの損失が少ない蕎麦の葉加工法を確立し、蕎麦の実とブレンドした風味良好な蕎麦茶の試作品を完成させるとともに技術提供を行った。
4	シーベリーに含有される成分の特性解明及び商品開発（令和元年度～2年度） ・共同研究者：士幌町、株式会社CheerS（士幌町） ・内容：シーベリーの特産品開発を目的とし、一次加工工程である搾汁及びオイル分離条件を確立した。また、得られた原料のフレーバー成分の特性をもとに試作品を提供した。

表4（受託事業の内容一覧）

委託者		事業・業務名および内容
1	国立研究開発法人 農業・食品産業 技術総合研究機構 (農研機構)	革新的技術開発・緊急展開事業（うち経営体強化プロジェクト） 「地場産乳酸菌を用いたブランドチーズ製造技術の開発」 (平成 29～令和元年度) <農研機構、道内研究機関等とのコンソーシアムにより実施> ・内容[当財団の分担業務]： スター候補乳酸菌の評価・選定ならびに試作チーズ味質評価
2	地方独立行政法人 北海道立総合研究 機構（道総研）	食の戦略研究～十勝資源を活かした地域食シーズ開発（令和元年度） ・内容：十勝産農産物ブランド化の検討、研究成果の普及促進
3	国立大学法人 名古屋大学	小豆紫色色素の定量法確立による、 品種格差と餡色発色の機構解明を目指す開発試験（令和元～3年度） ・内容：製餡工程の検討、色調が異なる餡の調製、餡色と製餡条件の関連 についての知見の獲得 等

表5（活用した補助金の一覧）

補助事業者	事業名・テーマ名
経済産業省 (北海道経済産業局)	戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業） 「医薬品・再生医療向け細胞培養用新規原料 『ウシ加工処理血清』の安定製造技術開発」 (平成 30～令和 2 年度) (共同体構成者：株式会社ジャパン・バイオメディカル、 有限会社ジャパン・ラム、兵庫医科大学)

<機械・電子分野>

表 6 (共同研究等のテーマ一覧)

テーマ	
1	<p>血乳検査装置の事業化（平成 30 年度～）</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力機関：酪農学園大学 内容：農業団体等の協力を得てフィールド試験を実施し、実用化に向けた性能評価を実施した。昨年度に開発したユーザー評価用供試品は、研究用途として酪農学園大学に導入し、十勝地域に限らず道央・道東地域の検量線開発にも着手した。また、「スマート農業サミット(北広島市)」に展出してユーザーニーズを収集した結果、顧客価値を高める差別化戦略として測定データを一元管理できるクラウドサービスが不可欠と判断し、プロトタイプのクラウドサービスを開発した。限られた資金の中で確実なアウトプットを出すために、一部のクラウドサービスをオフショアで開発するなど、新たな開発体制構築にも努めている。 
2	<p>ISOBUS 対応 ECU と作業機の開発（令和元年度～3 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力企業：十勝農機株式会社 内容：ISOBUS 対応作業機に搭載するゲートウェイ型電子制御装置（ECU）のハードウェアの試作開発を完了した。また、協力企業の製品であるポテトプランターの ISOBUS 対応化を目的として、播種ユニット等の電動化に着手した。令和 2 年度はこれを完了し、ECU の組込ソフトウェア開発を進める計画としている。  <p>試作開発した ECU 基板（左）とケース（右）</p>
3	<p>機械装置の遠隔診断装置の開発（令和元年度～3 年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> 協力企業：ノブタ農機株式会社 内容：十勝地域のメーカーが製造販売する機械装置に搭載する遠隔診断装置の仕様や構成を検討し、装置の試作仕様を明確化した。また、遠隔診断に対応するための機械装置側の PLC を核とした遠隔診断フレームワークを試作完了し、十勝地域のメーカー 1 社に対して説明とデモンストレーションを実施した。令和 2 年度は、スマートフォンのアプリとして遠隔診断装置を試作開発する計画としている。

テーマ	
4	<p>精密水流制御と画像処理技術を統合した農産物運搬用車両洗浄装置の開発 (平成 30～令和元年度)</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施機関：株式会社北土開発、株式会社共成、株式会社カムイ電子、国立大学法人帯広畜産大学 内容：昨年度に実施した定置型車両洗浄装置の実証試験で得られた知見を基に、潜在ニーズが高い可搬型車両洗浄装置の開発を実施した。可搬型の装置は、突発的に発生する家畜伝染病や病害虫に迅速に対応できる仕様となっており、幅広い防疫市場でのビジネス展開が見込まれる。  <p>可搬型車両洗浄装置のテスト実施状況</p>

表 7 (受託事業の内容一覧)

委託者		事業・業務名および内容
1	公益財団法人 北海道科学技術 総合振興センター (ノーステック財團)	<p>食関連産業省力化促進事業（北海道補助） 「I S O B U S 対応の農作業機に係る民間企業等との共同研究・開発 及び成果の普及・技術者の育成」（令和元～3 年度予定）</p> <p><委託者及び道総研工業試験場との共同体により実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 内容[当財団の分担業務]： <ul style="list-style-type: none"> I S O B U S 対応ゲートウェイ型 E C U （ハードウェア）の開発 I S O B U S 技術研修会の開催
2	農研機構	<p>農業機械技術クラスターの研究開発プロジェクト 「I S O B U S に対応した作業機 E C U 開発」（令和元～3 年度予定）</p> <p><農研機構北海道農業研究センター及び道内企業等との コンソーシアムにより実施></p> <ul style="list-style-type: none"> 内容[当財団の分担業務]： <ul style="list-style-type: none"> プロジェクト参加企業に対する I S O B U S 認証テストサービスの提供

表 8 (活用した補助金の一覧)

補助事業者	事業名・テーマ名
経済産業省 (北海道経済産業局)	<p>戦略的基盤技術高度化支援事業（サポイン事業）</p> <p>「精密水流制御と画像処理技術を統合した 農産物運搬用車両洗浄装置の開発」（平成 30～令和元年度）</p> <p>（共同体構成者：株式会社北土開発、株式会社共成、 株式会社カムイ電子、国立大学法人帯広畜産大学）</p>

表9（ISOBUS普及推進会の運営支援）

区分	内容								
目的等	十勝の主要産業である農業の一翼を担う機械関連製造業を中心に、ISOBUSに対応した農業機械の普及を促進するために設立された产学官連携体「ISOBUS普及推進会」について、試験研究の一環として、当財団が事務局を担う形でその運営を支援している。								
設立年月日	平成30年8月9日								
事業期間	毎年8月1日から7月31日まで								
構成メンバー	<p>役員（3名） ・会長：長澤 秀行（当財団理事長） ・最高顧問：野口 伸（北海道大学 農学研究院 副研究員長・教授） ・監事：山田 政功（十勝農業機械協議会 会長）</p> <p>支援機関（6機関） ・大学ならびに関係機関（当財団を含む）</p> <p>アドバイザー（7名） ・会長が支援機関等から指名した適任者</p> <p>後援団体（7機関） ・行政機関ならびに関連団体</p> <p>会員（合計44事業所・個人） ・十勝および道内に拠点を有する作業機メーカーなど</p> <p>【会員の内訳】</p> <table> <tbody> <tr> <td>プレミアム会員</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>正会員</td> <td>28</td> </tr> <tr> <td>賛助会員（法人・団体）</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>賛助会員（個人）</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	プレミアム会員	12	正会員	28	賛助会員（法人・団体）	3	賛助会員（個人）	1
プレミアム会員	12								
正会員	28								
賛助会員（法人・団体）	3								
賛助会員（個人）	1								
主な活動実績	<p>令和元年5月14日 農林水産省訪問による要請活動</p> <p>令和元年7月23日 ISOBUSテストツールに関するワークショップ</p> <p>令和元年8月7日 2019年度総会及びISOBUSセミナーの開催</p> <p>令和元年8月26日～9月20日 ISOBUS対応作業機開発実証事業 参画事業者の募集（応募数9社）</p> <p>令和元年9月5日 ノーステック財団委託事業の開始（3ヶ年予定）</p> <p>令和元年11月25日 農研機構委託事業の開始（3ヶ年予定）</p> <p>令和元年11月28日・29日 ISOBUS技術研修会（第1回）</p> <p>令和2年1月23日・24日 ISOBUS技術研修会（第2回）</p>								

(2) 技術支援

①技術指導・企業相談

企業等による技術的課題の解決や新製品開発等の促進を図るため、研究員が技術相談に対応するとともに、必要に応じて研究員を生産現場等に派遣し、直接的な指導及び助言を実施した。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、研究開発・技術支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化した。

表 10（技術相談件数）[現地技術指導を含む]

年度	相談件数	相談内訳	
		食品	機械・電子
R1	982	628	354
H30	956	624	332
H29	902	635	267

表 11（市町村別相談件数）

帶広	音更	士幌	上士幌	鹿追	新得	清水	芽室	中札内	更別
336	30	23	17	10	43	30	144	8	8
大樹	広尾	幕別	池田	豊頃	本別	足寄	陸別	浦幌	十勝以外
12	6	36	20	8	24	10	4	5	208

表 12（技術指導を行った地域活性化プロジェクト）

プロジェクトの内容
株式会社明治とフードバレーとかち推進協議会の包括連携協定に基づく 「十勝ヨーグルトプロジェクト」への技術支援（平成 30 年度～）
【目的】 十勝の乳の価値向上による産業振興・地域活性化
【内容】 株式会社明治が発見した十勝産生乳由来の新乳酸菌「十勝ミルク乳酸菌 TM96」を使用したヨーグルト製品の開発
【令和元年度の参画事業者】 十勝地域の乳製品製造企業等 4 社（前年度からの累計 6 社）
【主な支援】 製品開発に向けたプロジェクト参画事業者への技術指導 ・製造技術研修会の開催（R1.6.17～18） 内容：スターターの取扱い、及びヨーグルトの製造技術について

表 13（ものづくりワンストップ相談会の開催実績）

開催日	相談対応職員	共催
R1. 6. 14 R1. 9. 12 R1. 12. 12	四宮 紀之 高谷 政宏	帯広信用金庫・帯広畜産大学・とかち財団

表 14（講師・アドバイザー派遣実績）

<食品分野>

区分	派遣日	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師派遣	H31. 4. 12	音更町 町民グループ 「食の安全について」	音更町	川原 美香
講師派遣	R1. 5. 22	北海道立農業大学校 畜産経営学科講義 「農畜産加工起業概論」	本別町	佐々木香子
講師派遣	R1. 5. 30	北海道立農業大学校 畑作園芸経営学科講義 「農畜産加工起業概論」	本別町	佐々木香子
講師派遣	R1. 7. 11	D K S H ジャパン株式会社 職員研修ワークショップ 「水溶性食物繊維『イヌリン』の 加工適性と応用事例」	帯広市	葛西 大介
講師派遣	R1. 10. 16	北海道士幌高等学校 「食品用包装資材について」	士幌町	四宮 紀之

<機械・電子分野>

区分	派遣日	事業・セミナー	派遣地	派遣職員
講師派遣	R1. 6. 25	農林水産省北海道農政事務所 スマート農業に関する職員研修 「I S O B U S の概要と 普及推進会の取り組みについて」	帯広市	田村 知久 松原 慎吾

②検査分析

企業等の生産・製造活動の側面的支援を図るため、企業等からの依頼により、原材料・試作品・製品の品質評価等に係る試験・検査及び分析、成績書の発行を実施した。

これにより、企業等の課題解決に向けた取組みを促進し、ものづくり技術力の強化を図った。

<食品分野>（食品の成分分析や理化学測定、微生物検査）

表 15（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		依頼試験	依頼分析	賛本発行
R1	49	25	24	0
H30	45	24	21	0
H29	98	82	15	1

※主な依頼試験項目：一般生菌数、大腸菌群、耐熱性菌数、真菌数

※主な依頼分析項目：灰分、水分、タンパク質、脂質、無機質、食物繊維、糖類 等

<機械・電子分野>（鉄筋やコンクリートの強度試験、パークゴルフ用品の検定試験）

表 16（検査分析件数）

年度	検査分析件数	内訳		
		引張強度試験	圧縮試験	パークゴルフ用品
R1	315	179	8	128
H30	365	205	11	149
H29	511	221	90	200

※平成 29 年度は、平成 28 年台風第 10 号に伴う災害復旧工事が多かった影響により、コンクリート圧縮試験の件数が著しく増加した。

③技術講習・研修

ものづくりに関する技術者の育成を図るため、基礎・応用技術や商品開発等の知識習得を目的とした、専門的かつ実践的な技術者養成セミナー・講習会・研究会を実施するとともに、研究員による直接的な指導により技術習得を促進するため、企業等の技術者を研修生として受け入れた。

これにより、十勝の産業を支える技術者の実践的な人材育成を図った。

<食品分野>

[1] 微生物検査に関する実技講習会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、食品の品質・衛生管理に必要な微生物検査技術の習得を目的とした、少数限定の実技講習会を開催した。

(会場：食品加工技術センター)

表 17 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R1.5.21 R1.5.23	「実践、微生物検査の基礎」(初級編：一般生菌数、大腸菌群) 講師：ものづくり支援部 食品加工技術センターグループ 課長 川原 美香、研究主査 佐々木 香子	8
R1.5.29 R1.5.31	「実践、微生物検査の基礎」(中級編：黄色ブドウ球菌、サルモネラ) 講師：ものづくり支援部 食品加工技術センターグループ 課長 川原 美香、研究主査 佐々木 香子	4

[2] 十勝圏ナチュラルチーズ品質管理研究会

十勝地域のナチュラルチーズ業界における品質管理体制の強化を図るため、チーズ製造及び品質管理に関する知識の習得をはじめ、情報等の共有や意見交換を目的とする研究会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

表 18 (研究会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R1.9.11	第35回研究会 「チーズ製造に用いられるスターターの種類と特性」 講師：ミヤコ化学株式会社 ライフ＆フードマテリアル本部 事業統括 亀井 智治 氏 ほか2名	12
R2.3.11	第36回研究会 「困っていませんか？栄養成分表示の疑問を解決しよう！」 講師：北海道帯広保健所 保健環境部 主査 佐藤 敦子 氏	12

[3] とかち宇宙日本食セミナー

十勝地域における宇宙日本食開発の可能性を探るため、北海道十勝総合振興局等との共催により、宇宙日本食開発の進捗状況や、宇宙医学の観点からのヒント等を紹介するセミナーを開催した。(会場：十勝産業振興センター)

表 19 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R1.9.27	<p>「宇宙日本食の開発 ～小規模食品加工業者に求められる必須事項を考える～」 講師：有限会社十勝スロウフード 代表取締役 藤田 恵 氏</p> <p>「とかち財団が支援できること」 講師：ものづくり支援部長 葛西 大介</p> <p>「宇宙空間における人体と健康を考える ～宇宙医学研究者の立場から～」 講師：東京慈恵会医科大学宇宙航空医学研究室 暮地本 宙己 氏</p>	21

[4] シーズ活用型食品開発セミナー in 帯広

～ヘルシーDo等の機能性食品の開発に向けて～

地域の素材を活用した魅力ある商品開発の活性化を図るため、ノーステック財團等との共催により、付加価値の高い機能性のある素材開発と商品化に向けたセミナー（講演及び講師との意見交換会）を開催した。(会場：十勝産業振興センター)

表 20 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R1.11.27	<p>「小豆ポリフェノールの機能性成分と臨床試験データについて」 講師：コスモ食品株式会社 取締役工場長 大庭 潔 氏</p> <p>「ラフィノースの機能性成分と臨床試験データについて」 講師：日本甜菜製糖株式会社総合研究所 上席研究員 名倉 泰三 氏</p> <p>「ヘルシーDo 機能性表示食品制度と現状について」 講師：一般社団法人北海道バイオ工業会 事務局長 三浦 健人 氏</p> <p>「ヘルシーDo の認証取得とブランド・販売戦略」 講師：株式会社北海道バイオインダストリー 代表取締役 村上 季隆 氏</p> <p>「とかち財団の支援事業について」 講師：ものづくり支援部 食品加工技術センターグループ 研究主査 佐々木 香子</p>	17

[5] 食品輸出に関するセミナー

地域食品企業の食品輸出を促進するため、北海道十勝総合振興局との共催により、輸出の取組事例や支援策を紹介するセミナーを開催した。(会場：食品加工技術センター)

表 21 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R2. 2. 12	「オンライン見本市による新しい食輸出」 講師：umamail株式会社 取締役COO 松原 壮一朗 氏 「株式会社ヤマオの海外挑戦」 講師：株式会社ヤマオ 取締役営業部長 板橋 三千代 氏 「JETRO支援策紹介」 講師：JETRO北海道 帯広相談窓口 アドバイザー 梅澤 弘一 氏 「北海道の支援策紹介」 講師：北海道経済部食関連産業室 輸出戦略グループ 佐藤 雅代 氏	15

[6] 官能評価に関する基礎講習会

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、食品を取り扱うにあたって重要な指標となる官能評価の基礎的手法の習得を目的とした、少数限定の実技講習会を開催した。(会場：食品加工技術センター)

表 22 (講習会開催実績)

開催日	テーマ・実施内容等	受講者数
R2. 2. 26	「官能評価基礎講習会～ゼロから始める官能評価～」(第1回) 講師：ものづくり支援部 食品加工技術センターグループ 研究員 高谷 政宏	13
R2. 3. 18	「官能評価基礎講習会～ゼロから始める官能評価～」(第2回) 講師：ものづくり支援部 食品加工技術センターグループ 研究員 高谷 政宏	2

[7] 技術研修生の受け入れ

地域食品産業の技術力向上・人材育成を支援するため、企業等からの技術研修生の受け入れ等に取り組み、食品加工技術者の技術習得を促進した。

表 23 (研修生受け入れ実績)

受入期間	研修内容	受入人数
R1. 7. 8 R1. 7. 10	微生物検査技術の習得（一般生菌数、大腸菌群等）	1

<機械・電子分野>

[1] 3次元CAD講習会

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援し、機械製品開発ツールの利活用促進等を図るため、3次元CAD及び3Dプリンタの操作技術の習得を目的とした、少数限定の実技講習会を開催した。(会場：十勝産業振興センター)

表 24 (講習会開催実績)

開催期間	テーマ等	受講者数
R1. 6. 4～R1. 9. 10 (全13回、毎週火曜開催)	「3次元CAD講習会 導入編 ～SolidWorks2010と3Dプリンタを使ってみよう～」 講師：ものづくり支援部 十勝産業振興センターグループ 研究員 西條 大輔	3
R1. 10. 17～R1. 11. 28 (全6回、毎週木曜開催)	「3次元CAD講習会 Fusion360導入編」 講師：同上	5
R1. 11. 26～R2. 3. 3 (全12回、毎週火曜開催)	「3次元CAD講習会 応用編 ～SolidWorks2010を利用した高度なモデリング操作と 効果的な構造解析シミュレーションの実技講習～」 講師：同上	4
R1. 12. 5～R2. 3. 19 (全14回、毎週木曜開催)	「3次元CAD講習会 導入編 ～SolidWorks2010と3Dプリンタを使ってみよう～」 講師：同上	4

[2] オンデマンド型技術セミナー

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援するため、2次元CADやマイコンの操作技術の習得を目的とした、企業ニーズに特化した内容で開催するオンデマンド型の実技講習会を開催した。(会場：十勝産業振興センター)

表 25 (セミナー開催実績)

開催期間	テーマ等	受講者数
H31. 4. 10	「CANoeを使用したCANメッセージの解析」 講師：ものづくり支援部 十勝産業振興センターグループ 研究員 松原 慎吾	1
R1. 6. 13 ～R1. 6. 14	「Jw_CADによる2次元設計」 講師：ものづくり支援部 十勝産業振興センターグループ 研究員 西條 大輔	1
R2. 2. 5 ～R2. 2. 7	「SolidWorks Simulationによる3次元構造解析」 講師：ものづくり支援部 十勝産業振興センターグループ 研究員 西條 大輔	2

[3] 移動工業試験場 in 十勝

地域のものづくり産業の技術力向上・人材育成を支援するため、道総研工業試験場等との共催により、工業試験場や地域企業の研究開発事例等を紹介するセミナーを開催した。
(会場：十勝産業振興センター)

表 26（セミナー開催実績）

開催期間	テーマ等	受講者数
R2. 1. 27	<p><工業試験場の技術支援事例・研究開発事例の紹介></p> <p>「じやがいもの不用部除去システムの開発」 講師：道総研工業試験場 製品技術部 生産システム・製造技術グループ 研究主任 井川 久 氏</p> <p>「効果的な技能伝承のための取組」 講師：道総研工業試験場 製品技術部 生産システム・製造技術グループ 主査（生産システム） 神生 直敏 氏</p> <p><地元企業の研究開発事例の紹介></p> <p>「プロッコリー・フローレットカッターの開発について」 講師：株式会社フクザワ・オーダー農機 代表取締役 福澤 剛志 氏</p>	48

④情報発信・成果普及

ものづくりに関する有用な技術情報を発信するとともに、成果発表会や技術研究会の開催、展示会への開発製品の出展等により、試験研究・技術支援成果の普及に努めた。

これにより、事業成果等を広範囲に拡大させ、より一層の利活用を促進することで、財團事業への認知度・理解度の向上を図った。

<食品分野>

表 27 (成果発表会の開催実績)

開催日	開催場所	開催内容	参加者数
R1.11.18	十勝産業振興センター	<p>「食加技 P R E S E N T A T I O N D A Y」 【食品分野の試験研究・技術支援に係る成果発表等】</p> <p><基調講演> 「今さら聞けないH A C C Pの常識Q & A」 講師：北海道帯広保健所 生活衛生課 主査 大橋 克也 氏</p> <p><取り組み紹介> ①とから財団を活用しよう（助成事業等のご案内） ②十勝ヨーグルトプロジェクト ③J一チーズプロジェクト ④山幸酵母の製パン適性 ⑤山ワサビを活用した商品開発</p> <p><その他> ・ポスター展示（道総研食品加工研究センターほか） ・発表関連商品・十勝ブランド登録商品の試食 ・発表・展示内容に関する意見交換</p>	54



食加技 P R E S E N T A T I O N D A Y 実施状況

表 28（十勝圏地域食品加工技術者の会 開催実績）

開催日	開催内容	開催地	参加者数
R1.12.23	会員がプロデュースした食品関連店舗の視察見学・意見交換等	帯広市	9
R2.3.23	「いまさら人に聞けないHACCPの素朴な疑問」に関する情報提供・意見交換等	帯広市	9

表 29（スクラム十勝シンポジウムの共催実績）

開催日	発表内容	開催地	発表者等
R1.10.30	スクラム十勝シンポジウム 2019 －食と農に貢献する遺伝子データの活用－ ・発表テーマ 「遺伝子データを活用した発酵食品の研究開発」	帯広市	高谷 政宏

表 30（関係機関等主催事業等での発表・PR実績）

開催日	事業・会議等の名称及びPR内容	開催地	発表者等
H31.4.24	道総研食品加工研究センター成果発表会 口頭発表 「山ワサビを活用した商品開発」	札幌市	四宮 紀之
R1.11.18	道総研オープンフォーラム「たべ LABO マルシェ」 ポスター発表 「十勝ブランド スイートコーン製品を送り出すまで」	札幌市	川原 美香
R2.3.6 (開催中止)	日本食品科学工学会北海道支部大会 公開シンポジウム －特徴的な国産農畜産物を用いた 高度食品開発に関する研究・開発－ ・発表テーマ 「道産農畜産物から分離した乳酸菌を高度利用した 各種加工食品」 (開催中止につき、講演要旨集の公表により発表)	帯広市	高谷 政宏

表 31（専門誌への寄稿実績）

掲載時期	掲載誌等の名称、寄稿内容等
2019年11月 発行 Vol. 25 No. 6	「Food Science and Technology Research」 (発行者：公益社団法人日本食品科学工学会) 寄稿内容：「Characterization of the Yeast Hanseniaspora vineae Isolated from the Wine Grape ‘Yamasachi’ and its Use for Bread Making」 ものづくり支援部 食品加工技術センターグループ 研究員 高谷 政宏
2019年12月 発行 Vol. 15 No. 3	「グリーンテクノ情報」(発行者：NPO 法人グリーンテクノバンク) 寄稿内容：「十勝ヨーグルトプロジェクト」のご紹介 ものづくり支援部 食品加工技術センターグループ 課長 川原 美香

表 32 (ホームページの公開・運営状況)

区分	公開内容
十勝の食材データベース	十勝地域の業務用食材の取扱企業の紹介 <令和2年3月31日をもって公開終了>

<機械・電子分野>

表 33 (展示会への出展)

展示会の名称・開催地	期間	出展内容
北海道スマート農業SUMMIT (北海道北広島市 テクノロジーファーム西の里)	R1.6.12	<p><開発製品等の出展></p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速画像処理機能搭載光学選別装置 ・車両洗浄装置・車両ホイール 及び検出用画像処理システム ・立植式長いもプランター用自動操舵制御装置など <p><技術紹介セミナー></p> <p>「十勝から学ぶ！」 省力化、効率化を実現するための技術」</p> <p>講師：ものづくり支援部 十勝産業振興センターグループ 研究主査 菅原 崇</p>



北海道スマート農業SUMMIT 出展状況

表 34 (関係機関等主催事業等での発表・PR実績)

開催日	事業・会議等の名称及びPR内容	開催地	発表者等
R1.10.24	第70回農業食料工学会北海道支部年次大会研究発表 「農産物運搬車両洗浄装置の開発」	帯広市	菅原 崇
R1.11.8	北大リサーチ&ビジネスパーク スマート食産業推進セミナー 食関連産業省力化推進事業プロジェクトの紹介 「ISOBUS 対応農作業機の開発」	札幌市	松原 慎吾

表 35 (専門誌への寄稿実績)

掲載時期	掲載誌等の名称、寄稿内容等
2019 年度号	十勝農業機械化懇話会報（発行者：十勝農業機械化懇話会） 寄稿内容：「ISOBUS の普及による省力化・自動化・進化」 ものづくり支援部 十勝産業振興センターグループ 課長 田村 知久

表 36 (ホームページの公開・運営状況)

区分	公開内容
成果品 PR のための技術開発・製品開発内容詳解サイト	 <p>省力化や自動化のための 技術開発を行っています。</p> <p>十勝産業振興センターでは、農業生産や食品加工を省力化・自動化するための技術開発や製品開発を行っています。 人口減少や高齢化を克服し、持続可能な生産環境を構築するための、電子制御・センシング・クラウドコンピューティング等の要素技術を融合したオートメーションシステムを開発しています。</p> <p>https://www.tokachi-foundation.com <令和元年 10 月より公開：英語・中国語のページも同時公開></p>

<共通>

表 37 (ホームページの公開・運営状況)

区分	公開内容
とかち財団 ホームページ	 <p>豊かな資源を、 選ばれる商品に</p> <p>とかち財団は、十勝にイノベーションを引き起こす産業支援のプラットフォームです。事業の立ち上げ、商品開発、企業間コラボレーションなど、あなたのビジョンを実現するためのあらゆるステップに力を貸します。</p> <p>http://www.tokachi-zaidan.jp/index.php 食品加工技術センター・十勝産業振興センターの施設概要紹介 業務内容、研究成果、設備機器一覧、各種書式のダウンロード等</p>

⑤外部資金を活用した技術支援

北海道の「先端技術の導入支援等による地域生産性向上事業」補助金を活用し、製造業への先端技術（IoT等）の導入・応用を図るための製品開発・技術支援により、地域企業の生産性向上に取り組んだ。

表 38（活用した補助事業）

補助元	事業名
北海道	「先端技術の導入支援等による地域生産性向上事業」 内容：①省力化・自動化に関する企業等のニーズ把握 ②IoT システムを適用した試作機開発による企業等への技術支援 期間：令和元～3 年度（予定）

(3) 施設の管理運営

ものづくりに関する試験研究・技術支援を効果的に実施するため、技術支援施設（北海道立十勝圏地域食品加工技術センター、十勝産業振興センター）の保守管理、設備・機器の利用提供等を実施した。

これにより、施設の基本機能を十分に発揮し、利用者サービスの向上を図った。

①北海道立十勝圏地域食品加工技術センター（指定管理業務）

表 39（施設利用件数）

年度	利用件数	内訳	
		機器等	研修室
R1	271	266	5
H30	317	314	3
H29	499	497	2

表 40（施設利用時間）

年度	利用時間	内訳	
		機器等	研修室
R1	1,678	1,648	30
H30	2,095	2,083	12
H29	1,530	1,525	5

②十勝産業振興センター（財団所有施設）

表 41（設備機器利用件数等）

年度	利用件数	利用時間
R1	170	744
H30	138	498
H29	195	914

表 42（十勝地域機械製品開発ツール普及促進事業）

委託者	内容	ツール利用件数
帯広市	3Dプリンタ・CAEツール等の利活用促進・保守管理等	4

表 43 (会議室利用件数)

年度	利用件数	内訳	
		大会議室	中会議室
R1	352	184	168
H30	416	215	201
H29	481	237	211

表 44 (会議室利用人数)

年度	利用人数	内訳	
		大会議室	中会議室
R1	18,022	11,739	6,283
H30	18,768	12,541	6,227
H29	19,081	13,320	5,552

※平成 29 年度の会議室利用実績には共同研究室の利用件数を含む。

(一般社団法人とかち地域活性化支援機構等の入居に伴い、平成 29 年 7 月 1 日より一般への利用提供は当面の間休止としている)

(4) 十勝ものづくり総合支援補助金（十勝ビジネス支援プロジェクト2019）

十勝地域の中小事業者等が実施する新製品・新技術等の開発や、その成果普及・販売促進等の取組みに対し、事業費の一部を補助した。

これにより、地域の中小事業者等による新たなものづくりの先導的な取組みや、新しい産業の創造を促進した。

表45（十勝ものづくり総合支援補助金 募集・採択経過）

区分	内容
対象者	主たる事業所が十勝地域にある中小企業者（農林漁業者を含む）、または中小企業者で構成された団体・グループ（その他の要件あり）
対象事業等	①新製品・新技術・新サービス開発 補助率：2分の1以内／限度額：200万円 ②販路開拓（国内外） 補助率：2分の1以内／限度額：200万円 ③重点事業（上記のうち、地域への波及効果等が期待できる事業） 補助率：3分の2以内／限度額：400万円
募集期間	平成31年4月5日～令和元年5月31日
応募数	11件
選考過程	選考委員会による選考（委員総数7名、うち外部委員3名） ・書類選考：令和元年6月1日～13日 ・プレゼンテーション選考：令和元年6月26日（水）
採択者説明会	令和元年7月8日（月）開催



採択者・採択事業のプレス発表 令和元年7月8日（月）実施
(採択者説明会と同時に実施)

表 46 (十勝ものづくり総合支援補助金 採択者[6事業者])

事業者名	事業内容	補助金額
株式会社土谷特殊農機具製作所	[販路開拓] アイスシェルターのモンゴル国内販売促進事業 	1,410,000 円
前田農産食品株式会社	[新製品開発] 人も畑も健康に！北海道十勝ひまわりシードプロジェクト 	1,176,166 円
佐藤農園	[新サービス開発] 十勝産ジャガイモを使用した「オン・ザ・ポテト」の移動販売事業 	1,190,097 円
株式会社ヤマオ	[新製品開発] ヤマオワサビの品質及び生産性向上 	1,852,290 円

事業者名	事業内容	補助金額
有限会社ベルメゾンファーム	<p>[販路開拓] 幕別町の有機農産物を用いた有機 JAS 認証加工品の開発事業</p>  	1,895,000 円
有限会社十勝スロウフード	<p>[新製品開発] 食肉（内臓肉も含む）主に十勝産牛肉を原料とした肉醤油の製造、並びに派生商品の開発と販売事業</p> 	325,000 円

4 地域連携支援事業 【公益目的事業2】

(1) 企業相談

企業等が抱える経営課題の解決や、創業・起業・事業創発の促進を図るため、商工団体・産業支援団体・金融機関等の関係機関と連携・協力し、産業支援の経験が豊富な職員が経営・事業創発・知的財産等に関する相談に対応した。

これにより、地域ニーズ・企業ニーズを的確に把握し、事業化支援の効果的な展開を図るとともに、利用企業や関係機関等との連携を強化した。

表 47（企業相談件数）[技術関係の相談件数と一部重複]

年度	相談件数	相談内訳							
		起業 創業	人材 育成	商品 開発	広報 拡販	資金 獲得	知的 財産	地域 連携	その 他
R1	208	34	0	38	16	36	16	36	32
30	171	11	4	27	15	12	22	59	21

(参考：平成 29 年度までの事業区分[旧 公 2：ものづくり産業支援事業]における企業相談件数)

年度	相談件数	相談区分				
		知財関係	受発注関係	創業関係	経営関係	その他
29	287	22	48	35	36	146

(2) 開発商品等のPRおよび販路拡大

①展示会・商談会等への出展

試験研究・技術支援成果の利活用等により実用化された地域発の商品・技術等をPRし、その販路拡大を支援するため、首都圏等で開催される展示会・商談会等に出展した。

これにより、マーケットが求める質の高い「価値」を効果的・広域的にPRし、一層の販売促進・販路拡大を図るとともに、地域内外における連携を強化した。

※公1 ものづくり支援（2）－④「情報発信・成果普及」と連動して実施

表 48（展示会出展事業）

展示会の名称・開催地	期間	共同出展者
FOOMA JAPAN 2019（東京都 東京ビッグサイト）	R1.7.9～R1.7.12	2 社



FOOMA JAPAN 2019 (国際食品工業展) 出展状況

※令和2年3月に出展を予定していた「FOODEX JAPAN 2020」(会場:千葉県幕張メッセ)は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により開催中止となった。

②十勝ブランドの推進

特徴ある十勝産加工食品の品質・付加価値を客観的に評価し、その認知度を高めることにより、地域の個性や魅力を象徴する「十勝ブランド」を守り育て、地域産業の活性化に繋げるため、「十勝ブランド登録制度」を実施した。

これにより、さらに質の高い「価値」となり得る十勝ブランドの推進を図るとともに、登録品の効果的なPRや事業者間の連携を促進した。

<「十勝ブランド」の新たな展開の検討>

地域ブランド戦略を推進する取組みとして、運営団体である十勝ブランド認証機構の活動を支援する形で実施してきた「十勝ブランド認証制度」について、認証機構に参加する事業者との間で、今後の制度のあり方に関する協議を行い、以下の内容について合意した。

[1] 従来の4品目(チーズ・パン・菓子・乳製品)に限らず、様々な十勝産加工食品の販売促進等を支援できる形態の新制度へ移行すること

[2] 新制度の事業主体を認証機構(任意団体)から当財団に移行することなど

これに基づき、認証制度に代わる新制度として、令和元年6月より「十勝ブランド登録制度」を開始した。一方で、新制度の事業主体を当財団に移行するには、法令に基づき北海道に対して公益法人変更認定申請が必要であるため、手続完了までの間は暫定的に認証機構による運営とした。

なお、令和元年12月23日付で変更が認定されたため、それ以降は当財団が登録制度の事業主体となっている。



十勝ブランド登録マーク

表 49（十勝ブランド登録制度の概要）

区分	内容
対象	十勝産加工食品
登録基準	<p>(1) 十勝産原料を 51%以上使用した食品であること (2) 次のいずれかを満たしていること I. 十勝地域で製造されている II. 十勝の事業者が製造主体である (3) 適正な営業・製造許可を受け、法令を遵守していること</p>
付加価値基準	<p>商品の魅力や付加価値を『バリュー』として認定し、それを★の数で表示 (1個～最大5個)</p> <p>(1) 登録基準 (★1個) I. 登録基準をクリア =★1個</p> <p>(2) コアバリュー (最大★2個) I. 十勝産原料比率が 80%以上の商品（産地証明の提出が必要）=★1個 II. 唯一無二である または、十勝ならではの価値や特徴がある =★1個</p> <p>(3) プラスバリュー (最大★2個) コアバリュー以外の魅力・付加価値がある (最大★2個) 【例】受賞経験、第三者認証、オーガニック原料、トクホ など</p>
登録方法	登録を希望する事業者が任意で申請し、審査委員会による審査を経て登録
審査	有識者による「十勝ブランド登録審査委員会」が基準に基づいて審査し、全員一致で認められたバリューだけが認定される
登録料	無料 (ただし、任意参加の PR 事業は参加負担金あり)
登録期間	無期限 (ただし、定期の内容確認あり)

表 50（十勝ブランド登録状況）

[令和2年3月末日現在]

事業者数	登録品数	主な種類
33	124	チーズ、乳製品、パン、スイーツ、飲料、農産加工品

表 51（十勝ブランド 主な活動状況）

開催日・期間	内容
R1.5.10 ～R1.5.12	<p>イオン北海道「十勝フェア」出展</p> 

開催日・期間	内容														
R1. 6. 27	十勝ブランド登録審査委員会の開催														
R1. 7. 13 ～R1. 11. 4	<p>十勝ブランドスタンプラリーの開催</p> <p>【応募総数】 271 名</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>コース</th> <th>マイスター</th> <th>博士</th> <th>マニア</th> <th>入門</th> <th>ラッキー</th> <th>予科</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>応募数</td> <td>73</td> <td>43</td> <td>43</td> <td>61</td> <td>20</td> <td>47</td> </tr> </tbody> </table>	コース	マイスター	博士	マニア	入門	ラッキー	予科	応募数	73	43	43	61	20	47
コース	マイスター	博士	マニア	入門	ラッキー	予科									
応募数	73	43	43	61	20	47									
R1. 7. 24～	<p>十勝ブランド登録制度ホームページの公開開始</p> <p>http://www.tokachi-brand.jp</p>														

開催日・期間	内容
R1. 8. 27	十勝ブランド登録審査委員会の開催
R1. 8. 31 ～R1. 9. 1	「とかちマルシェ」出展 (9事業者) 
R1. 9. 25～	十勝ブランド登録商品 パンフレットの配布開始 
R1. 12. 19	関係機関に対するチーズ斡旋販売 (5工房)
R2. 2. 8	「十勝ブランドグランプリ 2020」の開催 (参加工房 19、出品数 60、来場者 209)
R2. 2. 17	十勝ブランド登録審査委員会の開催

表 52 (十勝ブランドグランプリ 受賞結果)

部門	賞	受賞工房	受賞商品名
ベスト of 十勝 (総合)	グランプリ	有限会社十勝ミルキー	麹プレミアムヨーグルト
	準グランプリ	十勝品質事業協同組合	十勝ラクレット モールウォッシュ
ベスト パフォーマンス (実演)	グランプリ	十勝品質事業協同組合	十勝ラクレット モールウォッシュ
	準グランプリ	株式会社 十勝野フロマージュ	カマンベール寿司 (なかさつないカマンベール)
ニュースタイル (食べ方提案)	グランプリ (同率受賞)	ペイストリーストーブ ハウス	生ましゅまろ サホロノトリフ
		株式会社 十勝野フロマージュ	カマンベール寿司 (なかさつないカマンベール)



「十勝ブランドグランプリ 2020」実施状況

(3) 地域連携の促進支援

事業創発・「売れる」ものづくり・販路拡大等に有効な地域連携・人的ネットワーク構築の促進を図るため、意見交換や情報共有による相互理解、必要な知識の習得、共通課題の検討、販売・マーケティング力の向上等を目的とした「交流の機会づくり」に取り組んだ。また、関係機関等の主催する会議等へ積極的に参画・協力した。

この他、十勝産業振興センターの1階を「コワーキングサロン」として開放し、フリーWi-Fiサービスを提供するなど、ビジネス利用の交流拠点化を図った。

これにより、十勝の「稼ぐ力」を創り出すためのプラットフォームの構築・形成を促進した。

表 53（産学官交流会の開催状況）

開催日	開催場所	開催内容等	参加人数
R1.9.10	帯広畜産大学	国立大学法人帯広畜産大学「産学官金連携交流会」共催	127名

表 54（地域連携に関する共同実施プロジェクト）

プロジェクトの内容
フジッコ株式会社とフードバレーとかち推進協議会の包括連携協定に基づく 「大豆ピニトールシロップの生産および活用技術の開発」プロジェクトの共同実施 実施期間：平成27～31[令和元]年度（5年間） 目的：十勝産農産物（大豆）の有効活用および高付加価値化 内容：今後の事業展開の検討に関する意見・情報交換等

5 事業創発支援事業 【公益目的事業3】

(1) 人材育成（十勝ビジネス支援プロジェクト2019）

①学生起業家支援

事業創発人材の持続的な育成を図るため、将来、十勝地域で創業・起業・事業創発を志す学生等に対し、奨学金を給付した。

これにより、創業等を目指す学生層の拡大を図り、起業家精神を持つ意欲的な人材の輩出を促進した。

表 55（令和元年度学生起業家支援奨学金 募集・採用経過）

区分	内容
募集概要	対象者：十勝地域の経済社会の発展に寄与することを目的とし、将来事業を起こすことを目標としている大学生等 給付額：36万円
募集期間	平成31年4月1日～令和元年5月31日
応募数	16件
選考過程	選考委員会による選考（外部委員3名） ・書類選考：令和元年6月1日～令和元年6月24日 ・プレゼンテーション選考：令和元年7月6日（土）
採用者説明会	ビジネスプラン発表会を兼ね、令和元年8月10日（土）に開催



採用者のプレス発表 令和元年8月10日（土）実施
(採用者説明会・ビジネスプラン発表会と同時に実施)

表 56（令和元年度学生起業家支援奨学金 採用者[8名]）*

氏名	所属・学年	ビジネスプラン名
口田 琢仁	名古屋大学	2021年度改革に向けた総合型選抜推薦・学校推薦型選抜に対する試み
平田 博史	帯広畜産大学 大学院	十勝産スペルト小麦（古代コムギ）の生産・製粉・販売事業 ～十勝産スペルト小麦の小ロットオーダーメイド製粉～
萬田 明	帯広畜産大学 大学院	ミツバチを活用した帯広畜産大学内6次産業化システムの構築
大江 竜二	帯広畜産大学	酪農家の家庭料理、「牛乳豆腐」の販売
中村 恒星	北海道大学	完全栄養チョコレート開発事業
兵庫 夏実	帯広畜産大学 大学院	Rチャットカフェ～学生発の学術交流会～
芹澤 健	帯広畜産大学	アウトドアガイドマッチングサービス「トカチマッチ」
土屋 玄	帯広畜産大学	十勝の農家と企業を支援するマッチングサービスの運営について

*採用者は全10名であったが、うち2名が給付を中途で辞退した。

②アーリーステージ事業者支援

事業化のスタートを支援するため、十勝地域で創業・新規事業を開始してから5年以内の事業者に対し、支援金を助成した。

これにより、アーリーステージ（成長初期段階）にある有望な事業者が実施する新事業の展開を促進した。

表 57（令和元年度アーリーステージ事業者支援助成金 募集・採択経過）

区分	内容
募集概要	対象者：十勝地域に主たる事業所があり、応募時点で事業開始後1年以上5年以内の事業者で、事業のステップアップを目指す者 助成金限度額：1社300万円まで（助成率10/10以内）
募集期間	平成31年3月18日～平成31年4月26日
応募数	12件
選考過程	選考委員会による選考（外部委員3名） ・書類選考：令和元年5月8日～令和元年6月3日 ・プレゼンテーション選考：令和元年6月19日（水）
採択者説明会	令和元年6月27日（木）開催

表 58 (令和元年度アーリーステージ事業者支援助成金 採択者[3事業者])

事業者名	事業内容	助成金額
一般社団法人ちくだい KIP (帯広市)	ひとのつながりで個々の健康意識を増幅させる次世代型ヘルスケアコミュニティの創出	3,000,000 円
株式会社 ciokay (浦幌町)	ハマナスコスメ「rosa rugosa」の定期購入モデル導入事業	2,512,861 円
株式会社 KOYA. lab (本別町)	新型タイニーハウス製作	3,000,000 円



採択者・採択事業のプレス発表 令和元年6月27日(木)実施
(採択者説明会と同時に実施)

表 59 (平成30年度アーリーステージ事業者支援助成金採択者報告会「EARLY STAGE TALK」の開催)

開催日	会場	発表内容・発表者
R1.11.11	LAND	「コミュニティ・ホテル型地域商社事業」 十勝シティデザイン株式会社 (帯広市)
R1.11.12	LAND	「客観的肉質評価法のグローバル展開」 一般社団法人ミート・イメージ ジャパン (帯広市)
R1.11.13	LAND	「小型航空機シェアリングサービスにおけるバックサイド開発及び営業活動」 株式会社エアシェア (帯広市)

③十勝人チャレンジ支援

事業者等による新事業創発を支援するため、十勝地域のチャレンジ意欲の高い産業人材に対し、国内外の先進地域等への調査研究資金を補助した。

これにより、事業創発に必要な技術導入や課題解決を促進し、地域の産業の発展に寄与できる積極的な人材を育成した。

表 60（令和元年度十勝人チャレンジ支援事業補助金 募集・採択経過）

区分	内容
募集概要	対象者：十勝地域に居住する農林漁業者または商工業等の産業に従事する者 または上記の者が同じ目的のために構成するグループ 補助金限度額：1名あたり 50 万円、上限 500 万円まで（補助率 10/10 以内）
募集期間	平成 31 年 4 月 10 日～令和元年 5 月 22 日
応募数	7 件
選考過程	選考委員会による選考（外部委員 4 名） ・書類選考：令和元年 5 月 28 日～令和元年 6 月 11 日 ・プレゼンテーション選考：令和元年 6 月 28 日（金）
採択者説明会	令和元年 7 月 12 日（金）開催

表 61（令和元年度十勝人チャレンジ支援事業補助金 採択者[4 件]）

事業者名／氏名	人数	テーマ	調査先	補助金額
ハッピネスデーリィ (池田町)	3	世界でトップのジェラート技術を十勝へ移植	イタリア	1,500,000 円
中札内村地域おこし協力隊／観光振興プロデューサー（中札内村）	2	キャンプとアグリツーリズムを融合し、十勝の自然と食を掛け合わせた観光素材の造成	スイス イタリア	1,000,000 円
GuestHouse ぎまんち (足寄町)	2	狩猟と宿泊施設を活用した、オリジナリティあふれた観光業、宿泊業の確立	フランス ドイツ スペイン	1,000,000 円
田畠正仁（帯広市）	1	南十勝における水牛酪農をテーマにした観光振興	イタリア	464,000 円



採択者・採択事業のプレス発表 令和元年7月12日（金）実施
(採択者説明会と同時に実施)

表62（平成30年度十勝人チャレンジ支援事業採択者報告会の開催）

開催日	会場	発表内容・発表者
R1.7.31	LAND	<p><個人版></p> <p>「キヌア栽培・調整工程の技術習得」 河田 利則 氏（株式会社とかち河田ファーム、音更町）</p> <p>「地域による技能実習生制度の円滑な活用環境整備にむけて」 山田 大介 氏（Tokachi Friend Ship、帯広市） 横山 将一 氏（横山農場、池田町）</p> <p>「ヨーロッパにおけるホワイトアスパラ生産体系の現状と十勝型大規模ホワイトアスパラ生産体系の模索」 竹中 章 氏（有限会社竹中農場、音更町）</p> <p><グループ版></p> <p>「オーストリアの木材高度利用に範を取るカラマツ王国十勝の新たな森林総合産業創出」 十勝の森林資源を活用した新産業創出研究会（足寄町） 代表者 佐野 大祐 氏</p>

(2) 事業化の加速支援

十勝地域における創業・起業・事業創発を具体的に支援するため、地域の産業支援機関等と連携し、ビジネスプランの構築・強化や不足要素の補強支援等を実施するプログラム「トカチコネクション」を運営した。

これにより、地域で創出された「事業の種」を育成し、支援対象者の事業拡大・加速化を図った。

表 63（トカチコネクション 事業概要）

事業概要
【連携機関】 帯広市・北洋銀行・北海道銀行・帯広信用金庫・帯広商工会議所・一般社団法人とかち地域活性化支援機構（とかち機構）
【主な支援プログラム】
①支援対象者の定期的なヒアリング等による事業化支援 • 起業後の事業拡大を目指す事業者、事業を軌道に乗せるまで「あと一歩」の事業者等に伴走しながらのハンズオン支援として、支援対象者と専門家を適宜繋ぐことで事業の加速化・事業効果の最大化を図る。 ★ハンズオン支援実績：年間9回、延べ20社
②「アーリーステージ事業者支援助成金」の採択事業者に対する支援
③十勝起業家磨き上げ事業 • 旧「起業家支援財団」が支援した起業家等の人的ネットワーク等を活用し、創業・起業者等の課題解決の糸口を探り当てる機会を形成し、事業創発の促進を図ることを目的とするビジネス交流の取り組みを、首都圏と十勝で各1回実施した。

表 64（十勝起業家磨き上げ事業「首都圏開催」実施実績）

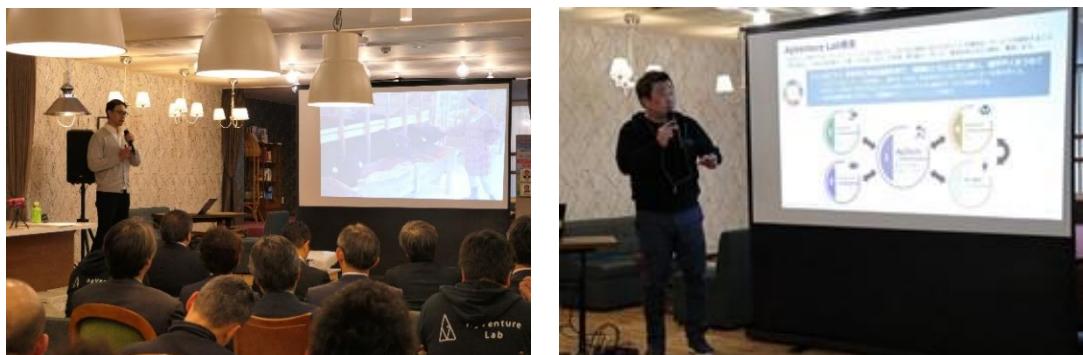
区分	内容
開催日・会場	令和元年10月5日（土） お取り寄せダイニング「十勝屋」（東京都）
内容	十勝の起業家によるプレゼンテーション ①「Fant～狩猟文化を新しく。ハンターのためのプラットフォーム～」 株式会社Fant（上士幌町） 代表取締役 高野 沙月 氏 ②「十勝キヌアの大規模供給事業計画」 株式会社とかち河田ファーム（音更町） 代表取締役 河田 利則 氏
出席者数	28名



十勝起業家磨き上げ事業（首都圏開催）実施状況

表 65（十勝起業家磨き上げ事業「十勝開催」実施実績）

区分	内容
開催日・会場	令和 2 年 1 月 29 日（水） LAND（帯広市）
内容	基調講演 「Ag Venture Lab の取組」 一般社団法人 Ag Venture Lab（東京都） 代表理事 萩野 浩輝 氏 事例発表 スタートアッププレゼン 株式会社アクセルスペース（東京都） 事業開発・営業グループ 後藤 綾児 氏 十勝の起業家によるプレゼンテーション 「農家さんと獣医師のための共有型電子カルテ『VETELL』」 株式会社 VETELL 代表取締役 CEO 池田 哲平 氏
出席者数	33 名



十勝起業家磨き上げ事業（十勝開催）実施状況

表 66 (「十勝ドリームマップ会議」実施実績)

区分	内容
主催	十勝ドリームマップ会議実行委員会 (帯広市、フードバレーとかち推進協議会、当財団)
開催日・会場	令和元年 11 月 25 日（月） fabbit Global Gateway “Otemachi”（東京都）
内容	フードバレーとかち首都圏プロモーション「十勝ドリームマップ会議 in 東京」 ・十勝の事業者によるプレゼンテーション等



フードバレーとかち首都圏プロモーション「十勝ドリームマップ会議 in 東京」実施状況

(3) Webによる情報発信

創業・起業・事業創発に関する支援制度や、十勝地域の起業家による取組みなどを広く周知・普及するため、Webを活用して積極的に情報発信した。

表 67 (Webマガジン・SNSによる情報発信)

区分	公開内容
Web マガジン 「十勝Z団」	 <p>http://www.tokachi-zaidan.jp/tkzd.php</p>

区分	公開内容
とかち財団 公式facebook	https://www.facebook.com/TokachiZaidan/
とかち財団 公式YouTube	https://www.youtube.com/channel/UCg5QPc2lcjBJIU5FzVrAw7Q
その他	「学生起業家支援奨学金」公式Twitter https://twitter.com/ShogakukinKigyo

6 事業創発拠点の管理運営事業 【その他の事業1】

地域における創業・起業・事業創発を促進するため、事業創発等を目指す若者や起業家、及びこれらの取組みに関心を示す事業者や関係機関等が集い、新たなチャレンジに向けた構想や戦略を練るために拠点として、帯広駅前にスタートアップ支援スペース「LAND」を設置し、その管理運営を行った。



表 68 (LAND概要)

区分	内容
開設日	令和元年8月4日（日）
住所・アクセス	<p>帯広市西2条南11丁目12番地 天光堂ビル1階</p>
施設	

表69 (LANDホームページ)

区分	内容
ホームページ	 <p>REALIZE CAFE LAND</p> <p>LANDは、十勝発の新たなビジネスプランやアイデアを実現するための空間です。</p> <p>https://www.land.or.jp</p>



LANDオープニングイベント
(令和元年8月4日(日)開催)

表 70 (LAND利用者数)

合計	内訳				
	仕事	相談	打合せ	イベント	その他
3,909	880	83	934	1,580	432

表 71 (LANDで実施した当財団共催イベントの例)

開催日	テーマ・実施内容等
R1.8.30	「THE INDEPENDENTS CLUB 帯広」 主催：特定非営利活動法人インディペンデンツクラブ 内容：①パネルトークセッション (帯広市長、金融機関、専門家[弁護士]によるセッション) ②事業計画発表（1社） ③起業家ピッチ（5社）
R1.9.1	「Step up Next」（若年層への起業家促進プログラム） 主催：帯広市 内容：プログラミング1日体験会 (十勝地域の中学生・高校生を対象に、Webページやスマホアプリの製作 体験会を実施)
R2.2.7	「ベンチャーコミュニティセミナー」 (起業家・事業者の資金調達に関するセミナー) 主催：株式会社日本クラウドキャピタル 内容：①資金調達ツールの紹介 (株式投資型クラウドファンディング、地方におけるファンド投資 等) ②トークセッション (投資会社、起業家[事業者]とのセッション)

7 海外先進地視察事業 【その他の事業2】

事業創発や技術力高度化等に関する先進的な知見を得ることにより、地域の課題解決や新たな事業展開を促進するため、地域の事業者や関係機関等とともに海外の先進地を視察する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。

(令和2年3月、アメリカ・テキサス州オースティン等を訪問し、「サウス・バイ・サウスウェスト（SXSW）」等を視察する予定であった)

8 収益事業

事業者等からの申込みによる受託事業を受け入れ、地域ニーズを幅広く反映させた技術力高度化等を図った。

また、食品分野の技術ニーズに対応可能な評価事業（食品関連評価事業）を実施した。

表72（主な受託事業一覧）

内容	
1	調理時における水溶性食物繊維イヌリンの活用方法に関するコンサルティング業務 (委託者：帝人株式会社)
2	インライン型ブロッコリーカッターの機構設計 (委託者：株式会社フクザワ・オーダー農機 [茅室町])

表73（食品関連評価事業）

コース名	受入件数
賞味期限設定のための支援コース	4件
味覚センサーを用いた味質評価コース	4件

9 主要事業に関連する事項

地域内外からの視察の受け入れ、関係機関との連携・協力、組織力強化の取組みを以下のとおり実施した。

また、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組み・措置を以下のとおり実施した。

(1) 視察の受入れ

表 74 (視察団体、内容等)

受入日		団体名等	内容	人数
1	R1. 7. 4	音更町議会	とかち財団の取組みについて	26
2	R1. 7. 25	帯広商工会議所 商業部会	とかち財団の取組みについて	15
3	R1. 8. 5	タイの食品関連団体	食品加工技術センターの取組みについて	50
4	R1. 8. 6	(公財) 日本豆類協会	豆類に関連する研究開発について	7
5	R1. 9. 6	J I C A研修員	とかち財団の取組みについて	12
6	R1. 9. 6	帯広市川西農業協同組合	小豆に関連する研究開発について	5
7	R1. 9. 30	帯広畜産大学 (学生)	食品加工技術センターの取組みについて	57
8	R1. 10. 10	二水会	とかち財団の取組みについて	30
9	R1. 11. 18	更別村農業協同組合	食品加工技術センターの取組みについて	14
10	R1. 11. 27	J I C A研修員	とかち財団の取組みについて	10
11	R1. 12. 13	J I C A研修員	とかち財団の取組みについて	10
12	R2. 2. 5	早稲田大学 (教員等)	食品加工技術センターの取組みについて	5
合計 12 件				241

(2) 関係機関等が主催する会議等への参画・協力等

表 75 (十勝地域の関係機関が主催する会議等への主な参画・協力実績)

主催機関・事務局等	会議等の名称	備考
フードバレーとかち推進協議会 (帯広市)	フードバレーとかち推進協議会	
帯広市	フードバレーとかち人材育成事業 運営委員会	
帯広市	帯広市産業振興会議	オブザーバー
帯広市	十勝地域産業活性化協議会	副会長
帯広市	とかち観光誘致空港利用推進協議会	副会長
帯広市	十勝フェスタ実行委員会	

主催機関・事務局等	会議等の名称	備考
帯広市	十勝バイオガス関連事業推進協議会	幹事
帯広市	連続テレビ小説「なつぞら」応援推進協議会	監事
帯広市	とかち高等教育推進まちづくり会議	部会長
帯広商工会議所・北海道 十勝管内商工会連合会	とかち商工産業振興会議（とかちづくり会議）	オブザーバー
帯広商工会議所	とかちマルシェ推進協議会	幹事
帯広商工会議所	帯広チェンマイ交流協会	副会長
帯広商工会議所	JICA 草の根技術交流事業 関係機関連絡会議	
帯広商工会議所	My とかち推進協議会	
帯広商工会議所	とかち創業支援ネットワーク会議	
北海道	科学技術振興に関する地域懇談会（帯広）	
十勝総合振興局	十勝食育推進会議	
十勝総合振興局	とかち食推進会議	
十勝総合振興局	とかち 6 次化検討部会	
帯広信用金庫	とかち・イノベーション・プログラム	
帯広畜産大学	帯広畜産大学地域連携フェロー	
帯広大谷短期大学	帯広大谷短期大学経営協議会	
帯広観光コンベンション 協会	道東道とかち連携協議会	
十勝農業機械化懇話会	十勝農業機械化懇話会	

（3）一般社団法人とかち地域活性化支援機構・帯広地域雇用創出促進協議会との連携

表 76（連携内容等）

連携内容等
【十勝産業振興センターへの入居】 前年度に引き続き、一般社団法人とかち地域活性化支援機構（とかち機構）・帯広地域雇用創出促進協議会（事務局：同機構）が十勝産業振興センターに入居している。
【アドバイザー派遣】 同協議会が上記の一環として実施する新商品・新サービス開発事業「クリサポとかち」に対し、必要に応じて当財団職員をアドバイザーとして派遣した。
【その他】 同協議会の設立時（平成 18 年）より、当財団が監事を務めている。 以上により同機構・協議会との連携を一層深め、地域の新商品開発や事業創発等の促進を図った。

(4) 組織力強化の取組み

①高度外国人材の確保・活用

人手不足は年々深刻化し、特に機械・電子分野ではIT技術者の確保が非常に困難な状況となっている。こうした状況を克服するための選択肢の一つに「高度外国人材の活用」が挙げられるが、その実現可能性を見極めるため、経済産業省が実施する「国際化促進インバーンシップ事業」に参加し、2名の外国人インターンとの協働を試行した。

その結果、2名とも非常に高度な技術開発能力を有しており、かつ円滑なコミュニケーションを図りながら協働作業を十分に実施できることを確認したので、下記の方法により高度外国人材の確保・活用を進めた。

表 77（主な外部研修受講実績）

区分	内容	
期間	R1. 9. 24～R1. 11. 22	
氏名	Aldi Bayu Kreshnanda Ismail	JIUN LIEW
国籍	インドネシア	マレーシア
専門分野	IT（顔認証システム）	IT（モバイルコンピューティング）
言語	ジャワ語、インドネシア語、英語	中国語、英語、マレー語
協働内容	<ul style="list-style-type: none"> ・組込みソフトウェアの開発 ・会員制ホームページの機構作成 ・英語ホームページの作成 ・インドネシア語、英語講座の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラウドシステムの開発 ・中国語ホームページの作成 ・中国語、英語講座の実施
人材確保・活用の方法	当財団の研究職員として採用し、来日の上で令和2年3月より十勝産業振興センターで勤務を開始した。	マレーシアに滞在し、フリーランスの技術者として、当財団が委託する技術開発業務を実施している。

②職員研修の実施

職員の専門性・実践力の向上や、業務改善等への意識の強化等を促進し、財団の事務局体制を強化するため、以下の内部研修を実施するとともに、外部研修に職員を受講させた。

表 78（講師招聘による内部研修の実施実績）

開催日	対象	内容・講師
R2. 1. 20	正職員 無期契約職員	内容：情報セキュリティ研修 講師：NPO 法人情報セキュリティフォーラム 小杉 史郎 氏

表 79（主な外部研修受講実績）

受講内容等	受講者数（延べ人数）
食品分野の試験研究・技術支援等に関する技能講習	4
機械・電子分野の試験研究・技術支援等に関する技能講習	6
公益法人会計・税務・労務に関する基礎・実務講習	4

（5）新型コロナウイルス感染拡大防止の取組み・措置

表 80（令和元年度末日[3月 31 日]までの主な取組み・措置）

開始日	施設・事業等	内容
R2. 2. 26	LAND	臨時休館（～R2. 3. 31）
R2. 2. 27	十勝産業振興センター	会議室使用料金の取り扱いに係る特別措置（継続中） <ul style="list-style-type: none"> ・使用承認を受けた事業者等が感染拡大予防対策として使用を取り止めた場合は、事前に納入された使用料金の全額を返還する（通常、使用承認後の取り止めに係る使用料金の返還は行わない）
R2. 3. 5	十勝産業振興センター	大会議室・中会議室の新規使用予約受付の一時停止 等（～R2. 3. 31）
R2. 3. 26	公 1・公 3	「十勝ビジネス支援プロジェクト 2020」公募説明会のオンライン開催



「十勝ビジネス支援プロジェクト 2020」公募説明会のオンライン開催

(当財団 Youtube チャンネルにてライブ配信)

10 管理運営事項

(1) 理事会

①第1回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	平成31年4月18日（木）
審議事項	1. 評議員会の開催について

上記審議事項について決議された。

②第2回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和元年5月7日（火）
審議事項	1. 理事選考委員会の委員予定者について

上記審議事項について決議された。

③第3回

開催日	令和元年6月4日（火）
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	11名（理事9名、監事2名）
審議事項	1. 平成30年度事業報告及び決算の承認について 2. 評議員会の開催について
報告事項	1. 規則の一部改正について 2. 評議員の選任結果について 3. 理事選考委員会の結果について 4. 令和元年度事業経過報告について

上記審議事項等について了承・決議された。

④第4回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和元年6月20日（木）
審議事項	1. 理事長（代表理事）1名選定について 2. 副理事長3名選定について 3. 専務理事1名選定について 4. 業務執行理事1名選定について

上記審議事項について決議された。

⑤第5回

開催日	令和元年11月5日（火）
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	8名（理事7名、監事1名）
審議事項	1. 評議員会の開催について
報告事項	1. 令和元年度事業経過報告について 2. 資産運用の状況について 3. 規則の制定及び一部改正について

上記審議事項等について了承・決議された。

⑥第6回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和元年12月5日（木）
審議事項	1. 副理事長1名選定について 2. 公益法人変更認定申請について

上記審議事項について決議された。

⑦第7回

開催日	令和2年2月19日（水）
開催場所	LAND
出席者	10名（理事8名、監事2名）
審議事項	1. 令和2年度事業計画及び収支予算について
報告事項	1. みなし決議による理事会及び評議員会の開催結果について 2. 規則の一部改正について

上記審議事項等について了承・決議された。

⑧第8回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和2年3月16日（月）
審議事項	1. 株主権の行使について

上記審議事項について決議された。

⑨第9回（定款第34条に基づくみなし決議）

決議があったものとみなされた日	令和2年3月31日（火）
審議事項	1. 事務局長の任免について 2. 理事辞任に係る後任理事の取り扱いについて 3. 評議員会の開催について

上記審議事項について決議された。

(2) 評議員会

①第1回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなし決議）

決議があつたものとみなされた日	令和元年5月17日（金）
審議事項	1. 評議員の選任について 2. 理事選考委員会の委員予定者について

上記審議事項について決議された。

②第2回

開催日	令和元年6月20日（木）
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	11名（評議員7名、理事2名〔常勤〕、監事2名）
審議事項	1. 評議員の選任について 2. 平成30年度事業報告及び決算の承認について 3. 理事の選任について
報告事項	1. 規則の一部改正について 2. 令和元年度事業経過報告について

上記審議事項等について了承・決議された。

③第3回（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第194条に基づくみなし決議）

決議があつたものとみなされた日	令和元年11月19日（火）
審議事項	1. 理事の選任について

上記審議事項について決議された。

(3) あり方検討委員会

開催日	令和元年9月12日（木）
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	7名（委員5名、理事2名[常勤]）
検討事項	1. 第2期産業活性化ビジョンの進行管理（PDCA）について

上記検討事項について事務局から説明し、取扱い等について検討を行った。

(4) 資産運用委員会

開催日	令和元年7月17日（水）
開催場所	北海道立十勝圏地域食品加工技術センター 研修室
出席者	5名（委員3名、理事2名[常勤]）
協議事項	1. 委員長の選出について 2. 資産運用の状況について 3. 今後の資産運用について

上記協議事項について事務局から説明し、運用に関する検討を行った。

(5) 行政特別委員会

開催日	令和2年1月28日（火）
開催場所	十勝産業振興センター 大会議室
出席者	17名（十勝地域19市町村の行政機関担当者等）
協議事項	1. 令和元年度事業経過報告について 2. 令和2年度事業計画（案）について 3. 基本財産の状況及び令和2年度運営負担金について

上記協議事項について了承された。

(6) 公益法人変更認定申請

申請内容	公益目的事業2「十勝ブランドの推進」の実施内容の変更 (外部団体運営支援から当財団直轄事業への変更)
申請経過	R1.12.5 第6回理事会にて公益法人変更認定申請を決議 R1.12.6 所管行政庁の北海道に対して申請を実施 R1.12.23 北海道より公益法人変更認定を受け、直轄事業化

以上